

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

# 日本皮膚科学会ガイドライン 帯状疱疹診療ガイドライン 2025

帯状疱疹診療ガイドライン策定委員会（委員長 浅田秀夫 奈良県立医科大学医学部皮膚科学）  
日本皮膚科学会誌:135 号 3 巻 発行日 2025 年 3 月 20 日

Minds 掲載 無

Grading Scale of Strength of Evidence

I: システマティック・レビュー／メタアナリシス

II: 1 つ以上のランダム化比較試験による

III: 非ランダム化比較試験による

IVa: 分析疫学的研究（コホート研究による）

IVb: 分析疫学的研究（症例対照研究、横断研究による）

V: 記述研究（症例報告や症例集積研究による）

VI: 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見

Grading Scale of Strength of Recommendation

A: 行うよう強く勧められる

（少なくとも 1 つの有効性を示すレベル I もしくは良質のレベル II のエビデンスがあること）

B: 行うよう勧められる

（少なくとも 1 つ以上の有効性を示す質の劣るレベル II か良質のレベル III あるいは非常に良質の IV のエビデンスがあること）

C1: 行うことを考慮してよいが、十分な根拠がない（質の劣る III～IV、良質な複数の V、あるいは委員会が認める VI）

C2: 根拠がないので勧められない

（有効のエビデンスがない、あるいは無効であることを示すエビデンスがある）

D: 行わないよう勧められる

（無効あるいは有害であることを示す良質のエビデンスがある）

## ■1 竜胆瀉肝湯、補中益気湯、人参養栄湯、連翹湯、柴苓湯 など

疾患:

急性期帯状疱疹の疼痛

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してよいが、“十分な根拠がない

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ19 漢方薬は急性期帯状疱疹の疼痛に有効か?』の推奨文に以下の記載がある

『急性期帯状疱疹の疼痛に対し、抗ウイルス薬などの他の治療法が使用できない場合には、十分な東洋医学の経験と知識を有する医師の管理下で、竜胆瀉肝湯による単独治療を考慮してもよい。

また、急性期帯状疱疹の疼痛対策として、補中益気湯、人参養栄湯、連翹湯、柴苓湯などの漢方薬を抗ウイルス薬と併用することを選択肢の一つとして考慮してよい。』

## ■2 竜胆瀉肝湯

疾患:

急性期帯状疱疹の疼痛

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してよいが、“十分な根拠がない

引用など:

Wang K, Coyle ME, Mansu S, Zhang AL, Xue CC: Gentiana scabra Bunge. Formula for Herpes Zoster: Biological Actions of Key Herbs and Systematic Review of Efficacy and Safety, *Phytother Res*, 2017; 31: 375-386

有効性に関する記載ないしその要約

『CQ19 漢方薬は急性期帯状疱疹の疼痛に有効か?』の解説に以下の記載がある

『海外の文献においては、竜胆瀉肝湯の単独治療が急性期帯状疱疹の疼痛を軽減し、PHNの残存率を低下させるとするいくつかのRCTの報告があり、それらのシステマティックレビューが報告されている』

## ■3 漢方薬

疾患:

急性期带状疱疹の疼痛

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してよいが、“十分な根拠がない

引用など:

- 1) 角谷孝子, 角谷広幸: ステロイドと漢方: 带状疱疹に対する柴苓湯の使用経験: 带状疱疹柴苓湯併用療法が著効を呈した 1 例および最近経験した柴苓湯併用例の検討, 現代医療学, 1993; 21: 644-5
- 2) 数田 稔: 带状疱疹に対する漢方薬の役割, 広島医学, 1993; 47: 1127-9.
- 3) 中村謙介: 带状疱疹に連翹湯, 漢方の臨床, 1999; 46: 788-9
- 4) 谷口彰治, 幸野 健, 寺井岳三: 带状疱疹後神経痛に対する補中益気湯の予防効果, *Progress in Medicine*, 2002; 22: 863-5

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ19 漢方薬は急性期带状疱疹の疼痛に有効か?』の解説に以下の記載がある  
『急性期の痛みを抗ウイルス薬と漢方薬とを併用して軽減しようとする治療法については、いくつかの症例報告または症例集積報告があるのみで、RCT は報告されておらず、良質なエビデンスは見当たらない。しかしながら症例の選択によっては有効な場合があるとされ、また漢方薬による副作用の出現率は低いものと考えられる。よって、急性期带状疱疹に対する抗ウイルス薬とこれらの漢方薬の併用による治療を、各薬剤の効能又は効果を確認のうえ選択肢の一つとして考慮してよい』